

テクニカルセンター（技術情報）

DEP（Device Enrollment Program）対応

DEP（Device Enrollment Program）は、Apple が提供する初期設定支援サービスです。端末を最初にアクティベーションする時に行なう作業を簡略化します。アクティベーション作業は、iOS に限らず、Android や Windows でも必要ですが、そこに踏み込んだサービスを提供したのは Apple だけです。このサービスを利用すると、初期導入作業は劇的に簡略化できます。

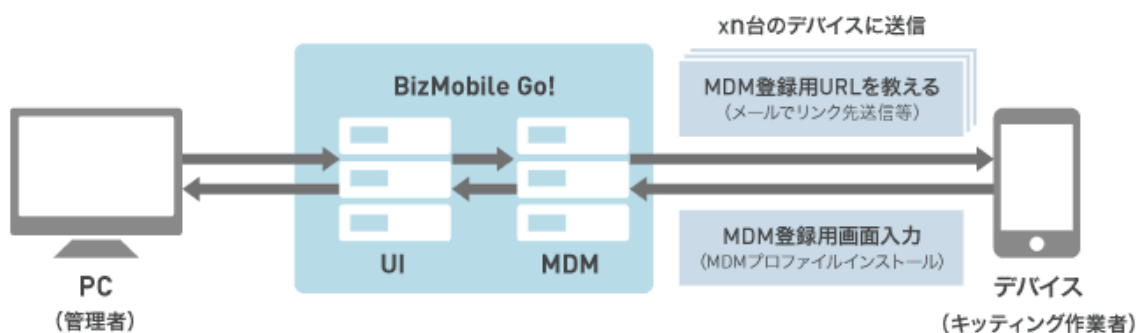
ただし、現時点で、この DEP（Device Enrollment Program）を使えるのは、Apple Store の法人窓口から購入した端末、ソフトバンクが販売した端末、KDDI が販売した端末だけです。DEP を使うと、企業や教育機関は、iOS 端末の初期導入を簡単に行うことができます。DEP は、MDM を強制し、MDM の削除を禁止することができます。Apple Configurator を使わなくてもデバイスを監視対象にすることができ、監視対象のデバイスはアプリをサイレントインストールできるので、キッティングを本当に自動化できます。

DEP を使うには、まず Apple の ADP（Apple Deployment Program）に登録します。DEP にサインインするには、DEP 用の Apple ID が必要です。まず企業や教育機関のドメインのメールアドレスの入力が求められます。DEP で指定できるものは、①利用する MDM サーバ、②監視対象のデバイス、③MDM の削除を禁止すること、④アクティベーション時にスキップする設定アシスタントの内容などです。

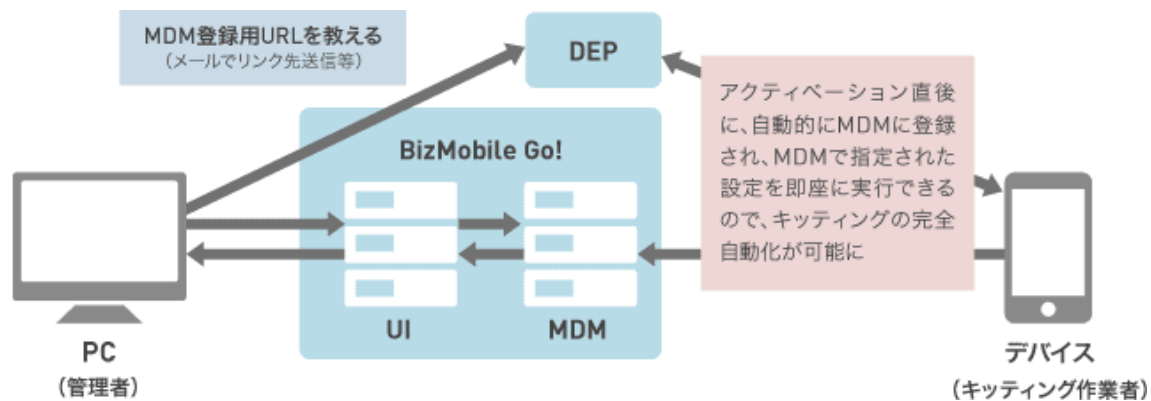
これまで、監視対象のデバイスに指定するためには、Mac と iOS 端末を USB 接続してから、Apple Configurator（iOS 9 の新機能には対応せず）または Apple Configurator 2（iOS 7 以降だけに対応）経由で、キッティング作業をするしか方法がありませんでした。また、監視対象のデバイスであっても、MDM を削除することが可能でした。DEP を使えば、遠隔から自動的にデバイスを MDM に登録でき、削除できないようにすることができます。ただし、アクティベーションを行うと端末は初期化されます。運用開始後に DEP を利用することはできないので注意が必要です。

iOS 9 以降、IT 管理者は、設定や制限、アカウントなど全てのシステム構成が正しく完了するまで、DEP に登録されたデバイスを利用者に利用されないようにロックすることができます。さらに、VPP でデバイス単位のライセンスを購入すれば、BizMobile Go! を使って、初期導入作業を完全に自動化することが可能になります。

アクティベーション後に、1 台ずつ MDM の手動登録が必要



DEP 登録時に MDM を登録すると、アクティベーション後に MDM は自動登録される



BizMobile 株式会社 (ビズモバイル株式会社)

〒101-0043 東京都千代田区神田富山町 5-1 神田ビジネスキューブ 3F

<http://www.bizmobile.co.jp/>